

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	特別活動の研究(Extracurricular Activities)	授業コード	K005151
担当教員名	橋口 泰宣		
配当学年	3	開講期	後期
必修・選択区分	必修	単位数	2
履修上の注意または履修条件			
受講心得	授業は教師と学生とが協働して創り上げるものです。授業では、毎回演習、グループ討議、プレゼンテーション、ライティング等の多様な教育方法を導入・実施します。基礎・基本の知識・技能の習得を踏まえ、授業主題に対する自らの思考力、判断力、表現力等の力量の形成し、そして自ら主体的に学習する態度の育成を図るため、学生自身による積極的な授業づくりへの参画を期待しています。□		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	適宜指示します。		
関連科目	生徒指導、教育相談		

授業の目的	社会の急激な変化に主体的に対応する人間の育成は世界各国に共通する教育の課題であり、このため日本の学校教育では、日本国憲法及び教育基本法制の下、平和的な民主国家と社会の形成に主体的に参画する国民の育成を目指して体系的な教育を組織的に行うことが求められており、特別活動においては、望ましい集団活動を通して、児童生徒一人ひとりの自主的・実践的な生きる力の育成を基本課題としています。「特別活動の研究」では、この基本課題の達成を目指す教師の専門的力量的形成の基礎を習得することを目的としています。
授業の概要	特別活動の教育的意義は、集団活動を通して規律ある生活づくりと意欲的な学習集団づくりに向けた自主的・実践的態度を形成する点にあります。授業では、新しい学習指導要領の総則及び特別活動編に則して、特別活動の意義、目標、内容、評価について、講義、演習、集団討議、プレゼンテーション等の方法を通して学習していきます。□

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週： 特別活動とは何か(1) 特別活動の意義について考えます。学生一人ひとりの学校体験を基礎に特別活動の意義について理解します。	学校教育の思い出を振り返ってみよう。配布資料
第2週： 特別活動とは何か(2) 皆さんの学校体験に基づくグループ討議とプレゼンテーションを通して、特別活動の意義について実感することに努めます。	特別活動の教育的意義を理解しよう。配布資料、学習指導要領
第3週： 特別活動の領域 I 学級活動・ホームルーム活動の意義について研究します。皆さんは教師になったつもりで、生徒が楽しくかつためになる教室運営のモデルを作成してもらい発表していただきます。	楽しい学校・学級づくりの工夫をしよう。配布資料、学習指導要領
第4週： 特別活動の領域 I 学級活動・ホームルーム活動の意義について研究します。皆さんは教師になったつもりで、生徒が楽しくかつためになる教室運営のモデルを作成してもらい発表していただきます。	分かる学校・学級づくりの工夫をしよう。配布資料、学習指導要領
第5週： 特別活動の領域 I 学級活動・ホームルーム活動の意義について研究します。皆さんは教師になったつもりで、生徒が楽しくかつためになる教室運営のモデルを作成してもらい発表していただきます。	専念できる、信頼できる学校・学級づくりの工夫をしよう。配布資料、学習指導要領
第6週：	

<p>特別活動の領域Ⅱ 生徒会活動の内容と指導のあり方について研究します。皆さんには、学校現場の生徒会担当教師になっていただき、学校の活性化を意識した生徒会活動モデルを考えていただき、発表していただきます。</p>	<p>みんなが取り組む生徒会活動のための工夫について考えよう。配布資料、学習指導要領</p>	
<p>第7週： 特別活動の領域Ⅱ 生徒会活動の内容と指導のあり方について研究します。皆さんには、学校現場の生徒会担当教師になっていただき、学校の活性化を意識した生徒会活動モデルを考えていただき、発表していただきます。</p>	<p>規律ある生徒会づくりに必要な基礎・基本について考えよう。配布資料、学習指導要領</p>	
<p>第8週： 特別活動の領域Ⅲ 学校行事の内容と指導のあり方について研究します。グループごとの年間行事計画を立てていただき、発表していただきます。</p>	<p>集団を育て、個を生かす学校行事について考えよう。配布資料、学習指導要領</p>	
<p>第9週： 特別活動の領域Ⅲ 学校行事の内容と指導のあり方について研究します。グループごとの年間行事計画を立てていただき、発表していただきます。</p>	<p>学校行事の基礎・基本について考えよう。配布資料、学習指導要領</p>	
<p>第10週： 特別活動を指導する教師の資質・能力 特別活動を指導する教師に求められる資質・能力について、リーダーシップの発揮の仕方に言及しながら講義します。第10回は講義。第11回と12回はグループ討議。第13回はグループ発表の時間に当てます。</p>	<p>集団を創る、個を生かす教師の専門性について考えよう。配布資料。</p>	
<p>第11週： 特別活動を指導する教師の資質・能力 特別活動を指導する教師に求められる資質・能力について、リーダーシップの発揮の仕方に言及しながら講義します。第10回は講義。第11回と12回はグループ討議。第13回はグループ発表の時間に当てます。</p>	<p>特別活動に必要な教師の力量とは何か、グループで協議しよう。配布資料。</p>	
<p>第12週： 特別活動を指導する教師の資質・能力 特別活動を指導する教師に求められる資質・能力について、リーダーシップの発揮の仕方に言及しながら講義します。第10回は講義。第11回と12回はグループ討議。第13回はグループ発表の時間に当てます。</p>	<p>特別活動に必要な教師の力量とは何か、グループで協議しよう。配布資料。</p>	
<p>第13週： 特別活動を指導する教師の資質・能力 特別活動を指導する教師に求められる資質・能力について、リーダーシップの発揮の仕方に言及しながら講義します。第10回は講義。第11回と12回はグループ討議。第13回はグループ発表の時間に当てます。</p>	<p>グループ発表 配布資料。</p>	
<p>第14週： まとめ(1) 教師を志す学生が身につけておくべき特別活動に関する基本的知識について復習します</p>	<p>特別活動の教育的意義と教師の専門性についてまとめよう。配布資料、学習指導要領。</p>	
<p>第15週： まとめ(2) 特別活動に関する基本的知識について振り返ります</p>	<p>特別活動の教育的意義と教師の専門性についてまとめよう。配布資料、学習指導要領。</p>	
<p>第16週： 期末試験 講義を通して、特に第14週及び第15週で振り返った特別活動の内容のうち、基礎的・基本的知識及び技能について試験します。試験時間は80分、筆記用具以外の持ち込みはできません。</p>	<p>試験問題配布資料</p>	
<p>授業の運営方法</p>	<p>(1) 授業の形式 (2) 複数担当の場合の方式 (3) アクティブ・ラーニング</p>	

備考	
----	--

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	学校教育における特別活動の教育的意義を理解し、「望ましい集団活動」づくりに対する積極的な意欲を習得している。
【知識・理解】	「学習指導要領：特別活動」に基づく基礎的・基本的な知識及び技能を習得している。
【技能・表現・コミュニケーション】	児童生徒の一人一人を生かす「技能・表現・コミュニケーション」の基本を習得している。
【思考・判断・創造】	「望ましい集団活動」づくりの具体的な場面における思考力・判断力・創造力を習得している。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	50点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			20点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	50点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	30点			
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	